

1の(三)

目的や必要に応じて、自分の考えの理由を挙げて書くことができるかどうかをみる問題

＜関連する過去の問題＞

H31全国1(三)：目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題

① 前田さんの学級では、自分たちの住むA市の特産物について調べ、友達にほうこくすることをしました。前田さんは、A市で作られている「ぶどう」について調べています。次は、前田さんが書いている【ほうこくする文章】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ほうこくする文章】

A市のぶどうについて

前田 ひかる

1 調べた理由

近所のケーキ店で、地元産のぶどうを使ったケーキやゼリーが売られていました。ケーキ店では、A市ではぶどう作りがさかんだったことでした。そこで、A市ではぶどうがどれくらい作られているのか、なぜぶどう作りがさかんのかを調べることにしました。

2 調べた方法

- ・ 図書館の本
- ・ 国、県、市などのホームページ

3 調べたこと

(1) A市のぶどうの生産量

A市で昨年とれたぶどうの量は、〈資料1〉のように約四千九百トンで、県内の市町村で一位でした。これは、二位のB町の約二倍で、県内で飛びぬけて多くなっています。県全体のぶどうの生産量は約一万五千トンなので、県内のぶどうの約三分の一を、A市で生産していることになりました。

(2) ぶどう作りに向いている土地

ぶどう作りに向いているのは、次のような土地です。

- ・ 日当たりがよい。(日光が当たると、あまきのもとができる。)
- ・ 水はけがよい。(雨水が土にたると、根がくさる。)

(3) ぶどう作りに向いている気候

ぶどう作りには、昼と夜の気温差が大きいことも重要です。なぜなら、昼間にできたあまきのもとには、夜の気温が高いと、たくさん失われてしまうからです。

A市は、山に囲まれているため、県内の他の市町村に比べて、昼と夜の気温差が大きいといえるようです。例えば、県庁所在地であるD市と比べると、〈資料3〉のように、昼と夜の気温差が一度以上大きくなっています。

まとめ

A市には、ぶどう作りに向いている土地や気候の持ちようがあることが分かりました。その持ちようとは

このように、「ぶどうはA市の地形と気候を生かした特産物です。A市では、ぶどうだけではなく、ぶどうを使ったおかしなどもたくさん作られています。A市のぶどうをもっと多くの人に知ってもらいたいです。」

三 前田さんは、**まとめ**の に **調べたこと**の(2)と(3)で分かったことをまとめて書いています。 に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

○ 「3 調べたこと」の(2)と(3)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。

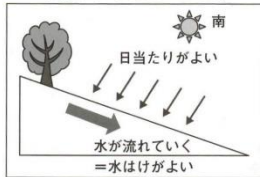
○ 【ほうこくする文章】にふさわしい表現で書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、五十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

〈資料3〉昼と夜の気温差

昼の気温(最高気温)と夜の気温(最低気温)の差
A市…9.7℃
D市…8.4℃
→A市はD市より、昼と夜の気温差が1.3℃大きい。

〈資料2〉南向きのしゃ面



〈資料1〉県内でぶどうの生産量が多い市町村(3位まで)

市町村	生産量
1位 A市	約4900トン
2位 B町	約2500トン
3位 C市	約1600トン

※県全体では約15000トン

正答の導き方

〔1〕問題文と〈条件〉を読んで、問われていることを確認する。

- ①問題文から『「4 まとめ」の に「3 調べたこと」の(2)と(3)で分かったことをまとめて書くということ』を捉える。
- ②〈条件〉ア 「3 調べたこと」の(2)と(3)の両方から言葉や文を取り上げて書く。
イ 【ほうこくする文章】にふさわしい表現で書く。
ウ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、五十字以内にまとめて書く。
の3つを捉える。

〔2〕A市の土地や気候の特徴を、「3 調べたこと」の(2)と(3)から見つける。

- A市の土地の特徴 → (2) 「南向きのしゃ面が多い」
- A市の気候の特徴 → (3) 「昼と夜の気温差が大きい」

〔3〕〈条件〉に合わせて書く。

敬体で書かれている文末表現に気を付け、(その持ちようとは、)に続くように、「～ということです。」などのまとめ方で書く。

【正答例】(その持ちようとは、)南向きのしゃ面が多くあり、昼と夜の気温差が大きいということです。〈41字〉

必要な学習内容

- ・ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。
- ・ 敬体と常体との違いに注意しながら書く。

調査問題を活用した授業改善のための指導資料

誤答例とその原因

(誤答例1) (その特ちょうとは、) 南向きのしゃ面が多くあるということです。〈29字〉

(誤答例2) (その特ちょうとは、) 昼と夜の気温差が大きいということです。〈28字〉

〈条件ア、ウを満たしていない〉

◆「ぶどう作りに向いている土地や気候」と「A市の土地や気候の特徴」を結び付けて、必要な情報を見付けたり、三十字以上、五十字以内にまとめて書いたりすることができていない。

(誤答例3) (その特ちょうとは、) 南向きのしゃ面が多くあり、昼と夜の気温差が大きい。〈34字〉

〈条件イ、ウを満たしていない〉

◆敬体で書かれている【ほうこくする文章】に合わせた文末表現や、書き出しの言葉に続く書き方で書くことができていない。

授業改善のポイント

- 報告する文章を書く場合は、**調査の内容や方法、調査の結果とそこから考えたこととの関係を明確**にしたり、**書く内容の中心を明確にした文章構成**を考えたりして書くことが大切です。

調べたことを基に、考えたことや思ったことを整理して、ほうこくする文章を書きましょう。



「調べたこと」の(2)と(3)から、A市の地形と気候を生かして、特産品のぶどう作りをしているということが分かり、すごいと思いました。

- 【調べて分かったこと】
- (1) 「ぶどうの生産量」
へA市の特ちょうへ
○約四千九百トン
○県内一位(二位の二倍)
○県内の三分の一を生産
 - (2) 「ぶどう作りに向いている土地」
○日当たりがよい
○水はけがよい
へA市の特ちょうへ
○南は海、東西と北に山
○北側の山には、南向きのしゃ面が多い
 - (3) 「ぶどう作りに向いている気候」
○昼と夜の気温差が大きいことが重要。
へA市の特ちょうへ
○山に囲まれていて、他の市町村より昼と夜の気温差が大きい
○D市より一度以上大きい

【調べて分かったこと】

構成メモを整理する場面では、**内容の中心を明確**にしたり、**段落のつながりを意識**して構成を考えたりすることができるように、ワークシートやタブレットを活用し、付箋等を操作しながら、**情報を取捨選択したり、分類・整理したりする活動**を行いましょう。

○ A市の地形と気候を生かして、特産品のぶどう作りをしているという感じが分かり、すごいです。思った。
○ A市のぶどうをもっと多くの人に知ってもらいたい。

○ A市のぶどうの生産量は飛びぬけて多くおどろいた。

【考えたこと・思ったこと】

分かりやすく伝えるためには、どのような点が大切だとおもいますか。



「**A市でぶどう作りがさかんな理由**」を分かりやすく伝えるために、「**ぶどう作りに向いている土地や気候の条件**」「**A市の土地や気候の特ちょう**」の順で書くとよいと思います。

各自の報告文を交流する場面では、**内容だけでなく、文章の構成や書き表し方等にも着目**することができるように、既習をまとめた掲示物やタブレット内のスタディ・ログ等を活用し、交流する際の**視点を明確**にしましょう。

- 記述する際には、「**書き出し**」や「**文末表現**」に気を付けて書くことも大切です。

書く活動において、日ごろから**書き出しに合わせて**自分の考えを書くことや、文末の表現を**敬体か常体のどちらかに統一して**書くことを意識させましょう。